# 主題：神の建造の内在的な構成を知り経験する

メッセージ　13

**召会の建造のために、すべてを含むキリストとしてダビデの子を経験し、享受する**

聖書：サムエル下7:12-14前半．マタイ1:1．2:2．13:3-8，18-23．14:16-21．15:26-28

**Ⅰ．キリスト、ダビデの子は、王、支配者であり、わたしたちを天の王国の中にもたらします――サムエル下7:12-14前半．マタイ1:1．2:2．4:17．5:3：**

Ａ．すべての権威は、天の王である主イエス、ダビデの子に与えられました――28:18-19。

Ｂ．キリストをダビデの子として受け入れることは、彼の王の地位を認めて、わたしたちが彼の王職と権威の下にとどまるべきことを認識することです――8:8-9：

１．もしわたしたちが彼の権威、彼の行政の下にいなければ、わたしたちは救われることができません。救いは、彼の王職の下でわたしたちにやって来ます。

２．福音が最初に提示されたのは、ヨハネによる福音書にあるように、命の方法においてではなく、マタイによる福音書にあるように、王国の方法においてです――4:17：

ａ．わたしたちが罪を犯すのは、わたしたちが反逆的であるからです――8:2．Ⅰヨハネ3:4。

ｂ．わたしたちは自分の反逆を悔い改めて、キリストをわたしたちの王として受け入れる必要があります。それは彼が神の王国において、わたしたちの中で支配し、またわたしたちの上で支配するためです――コロサイ1:13。

３．キリストがダビデの子であることは、わたしたちが神聖な権威にあずかるためでもあります――マタイ16:19．18:17-19．28:18-19。

Ｃ．ダビデの子によって設立された神の王国は、神がご自身を行使してわたしたちを祝福する領域です――ルカ1:31-33：

１．祝福は、神の権威の領域、すなわち、神の行政の下にある領域を必要とします。そのような領域がなければ、神が入ってきてわたしたちを祝福することはできません――マタイ5:3-11。

２．いったん神がご自身の権威で満たされた王国を持つなら、彼はご自身の行政において、彼の心にあるすべての事を遂行して、彼の選びの民へと約束された祝福になることができます――ガラテヤ3:14。

Ｄ．わたしたちはキリストをダビデのとして経験し享受するとき、彼をアブラハムの子（子孫）としても経験し享受します――マタイ1:1：

１．アブラハムの子孫としてのキリストは、命を与える霊と成って、ご自身を彼の信者たちの中に分け与え、地のすべての国民の祝福となりました――創22:18．Ⅰコリント15:45後半．ガラテヤ3:14，16。

２．キリストをわたしたちの王として受け入れ、享受し、彼の支配の下に生きることによって、わたしたちは手順を経て究極的に完成された三一の神をわたしたちの

祝福として享受します。

**Ⅱ．すべてを含むキリストとしてのダビデの子は、種をまく者であり、種、すなわち三一の神の具体化でもあります――マタイ13:3-8，18-23．コロサイ2:9：**

Ａ．キリストは種をまく者であり、ご自身を命の種として人類の中にまきます。このキリストは主の回復の中心そのものです。なぜなら、それは神の心の願いと関係があるからです――マルコ4:3-4，14．エペソ1:5，9：

１．言葉としてのキリストは命の種であって、土壌としてのわたしたちの中にまかれます。彼は三一の神の具体化としてのご自身を、彼の信者たちの中にまきました――マタイ13:23。

２．キリストは種をまく者として、ご自身を命の種としてわたしたちの心の中にまきました。それは彼がわたしたちの中で生き、わたしたちの中で成長し、わたしたちの内側から表現されるためです――ガラテヤ2:20．4:19．ピリピ1:20-21前半。

３．主イエスの願いは、ミングリングの方法においてわたしたちの中に入り、わたしたちの命となることです。それは彼ご自身をわたしたちの要素とならせ、わたしたちを彼の表現とならせるためです。

Ｂ．実際において、キリストのからだ、すなわち、神聖な命が人性とミングリングされて構成されている有機体は、一種の植物であって、命の種としてのキリストを、成長させる地としての人の心の中へと成長させます――マタイ13:23．ルカ8:15．エペソ1:23。

Ｃ．三一の神は彼の具体化において、わたしたちの存在の中へとまかれました。そして小麦を生長させ、多くの穀粒を生み出します。それらは共にブレンディングされて、一つの実体、すなわち、キリストのからだとなることができます――Ⅰコリント10:17。

**Ⅲ．すべてを含むキリストとしてのダビデの子は、養う方です。彼はわたしたちをご自身をもって養っています。それはわたしたちが彼を、わたしたちの存在の中で成長させるためです――マタイ14:16-21．15:33-38：**

Ａ．キリストはわたしたちを、大麦のパン(生み出す命)また魚(贖う命)としてのご自身をもって養っています――ヨハネ6:9：

１．わたしたちの霊的飢えを満たすために、わたしたちはキリストの生み出す命と贖う命の両方を必要とします――マタイ14:17。

２．大麦のパンは、わたしたちの食物としての、復活の中にあるキリストを表徴します――ヨハネ11:25。

３．贖う命として、キリストはサタンが腐敗させたこの世の中で生きましたが、その腐敗によって影響を受けることはありませんでした――17:14-16。

４．わたしたちは今や、キリストによって、復活した命のパンとしてのご自身をもって、養われつつあります。またわたしたちは、彼によって、彼の贖う命をもって、養われつつあります。

Ｂ．わたしたちはキリストを、食卓の下のパンくず、パンのかけらとして経験し、享受することもできます――マタイ15:22-28：

１．カナン人の女は、キリストが砕かれたパンくずになり、彼女の分となったことを

認識しました。そのようなキリストはわたしたちの分でもあり、わたしたちの経験と享受になります――26-27節。

2．カナン人の女のように、わたしたちも信仰を活用して、キリストをパンくずとして取り入れ、わたしたちの命の供給となっていただく必要があります――28節。

C．キリストは、パンとしてのご自身をもってわたしたちを養うことによって、わたしたちを支配します――26-27，32-38節：

1．神のエコノミーは、外側の事柄ではなく、内側でキリストがわたしたちの中に入ってくることです。このために、わたしたちはキリストを食べることによって、キリストを取り入れる必要があります――エペソ3:17前半．ヨハネ6:57。

2．わたしたちはすべてを含むパンとしてのキリストを食べれば食べるほど、さらに王の成分がわたしたちの中に構成し込まれて、わたしたちの内側で支配する要素となり、わたしたちをキリストの行政におけるキリストの増し加わりとならせ、天の王国とならせ、召会を建造します――ダニエル2:34，35後半，44-45．マタイ16:18。

*©2006 Living Stream Ministry*